

# ローンとクレジット

Loan . . . 後払い

Credit . . . 立て替え払い

} どちらも  
**借金 !!**

## クレジットカードの機能

- (1) **ID機能** (個人識別) . . . 身分を証明することができる。  
一定の支払い能力を有する信用力の証明でもある。
- (2) **決済機能** . . . 現金の代わりに支払いすることができる。  
**キャッシュレス機能**
- (3) **金融機能** . . . 代金を後払いにできる。
- (4) **顧客情報集約機能** . . . 顧客の属性, 生活水準, 消費動向の情報が得られる。
- (5) **サービス付加機能**

## 支払い方法

- ・ 一括払い { 翌月一括払い  
ボーナス払い
- ・ 分割払い { 回数分割払い  
リボルビング払い

## 一括払いの場合

例えば, 毎月10日締め切り翌2日支払い(金融機関が休業日の場合翌営業日)の場合, 購入時期により支払い期日をおよそ20日から50日繰り延べることができる。また, ボーナス一括払いなどを利用すると手数料を減らすことも可能である。

## 分割払いの場合(手数料がかかる場合が多い)

### A 回数分割払いの場合

支払い計画を立てよう

社会人1年生のA君は, 念願のパソコンを購入することにした。A君の立場に立って, 収入を考えながら支払い計画を考えてみよう。

#### A君の収支明細

基本給, 手当	197,000 円
税金, 保険料	25,604 円
手取額	171,396 円
家賃(寮)	30,000 円
光熱水道費	9,700 円
通信費	15,000 円
食費	50,000 円
貯金	20,000 円
差し引き小遣い	46,696 円

A君がクレジットを利用してパソコンを買う計画は妥当かどうか, 意見を書きなさい。

**仕事, 趣味でどうしても必要ならば購入する必要があるが, 月々の小遣い46,696円のうちから支払額を差し引いた金額で生活ができるかどうかを考えさせる。その結果妥当かどうかを各自に判断させる。**

購入希望

希望の商品は					
商品名 ノートパソコン，プリンタ					
現金価格 262,500 円（消費税込み）					
クレジット会社の決めた手数料（例）					
支払い回数	3	6	12	18	24
支払い期間（ヶ月）	3	6	12	18	24
実質年率（%）	12.25	13.75	14.75	15.00	15.00
利用代金 100 円の手数料	2.04	4.08	8.16	12.24	16.32

\*ただし分割支払い金の単位は 100 円とし，端数が発生した場合は初回に算入するものとします。

12 回払いで月々の支払い額を計算してみよう。

1 手数料の額は，

手数料の額は，代金に「利用代金 100 円の手数料」の額を乗じて算出する。

$$\begin{array}{r} \text{現金価格} \qquad \qquad \qquad \text{100 円あたりの手数料} \qquad \qquad \text{手数料額（利息）} \\ 262,500 \quad \times \quad 8.16 \quad \div \quad 100 \quad = \quad 21,420 \text{（円）} \text{（1 円未満切捨て）} \end{array}$$

2 支払い総額は

現金価格に手数料を足すと支払い総額になる。

$$\begin{array}{r} \text{現金価格} \qquad \qquad \qquad \text{手数料額（利息）} \quad \text{支払い総額} \\ 262,500 \quad + \quad 21,420 \quad = \quad 283,920 \text{（円）} \end{array}$$

3 月々の支払い額は

月々の支払い額は，支払い総額を支払い回数で割って算出する。

$$\begin{array}{r} \text{支払い総額} \qquad \qquad \qquad \text{支払い回数} \qquad \qquad \text{1 回の支払い} \\ 283,920 \quad \div \quad 12 \quad = \quad 23,660 \text{（円）} \end{array}$$

端数が出た場合は 1 回目に組み込まれる。（1 円もまけられない！！）また，この例題の場合，100 円未満も初回に組み込まれるので，初回の支払い額を求めると

$$\begin{array}{r} \text{支払い総額} \qquad \qquad \text{2 回～12 回分の支払い額} \\ 283,920 \quad - \quad (23,660 \times 11) \quad = \quad 24,320 \text{（円）} \end{array}$$

初回の支払い額は 24,320 円，2 回目以降の支払い額は 23,660 円

24 回払いだと手数料の額，支払い総額，初回支払い額，2 回目以降支払い額はどうか。

$$\begin{array}{r} \text{現金価格} \qquad \qquad \qquad \text{100 円あたりの手数料} \qquad \qquad \text{手数料額（利息）} \\ 262,500 \quad \times \quad 16.32 \quad \div \quad 100 \quad = \quad 42,840 \text{（円）} \text{（1 円未満切捨て）} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{現金価格} \qquad \qquad \qquad \text{手数料額（利息）} \quad \text{支払い総額} \\ 262,500 \quad + \quad 42,840 \quad = \quad 305,340 \text{（円）} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{支払い総額} \quad \text{支払い回数} \quad \text{1 回の支払い} \\ 305,340 \quad \div \quad 24 \quad = \quad 12,722.5 \text{（円）} \end{array}$$

100 円未満の端数は 1 回目に組み込まれるので初回の支払い額を求めると

$$305,340 \quad - \quad (12,700 \times 23) \quad = \quad 13,240 \text{（円）}$$

初回の支払い額は 13,240 円，2 回目以降の支払い額は 12,700 円

頭金 15 万円払って 12 回払いだと手数料の額，支払い総額，初回支払い額，2 回目以降支払い額はどうか。

$$262,500 \quad - \quad 150,000 \quad = \quad 112,500 \text{（円）} \dots \text{（クレジットの金額）}$$

$$112,500 \quad \times \quad 8.16 \quad \div \quad 100 \quad = \quad 9,180 \text{（円）} \dots \text{手数料}$$

$$112,500 \quad + \quad 9,180 \quad = \quad 121,680 \text{（円）} \dots \text{（クレジット相当分の支払い総額）}$$

$$121,680 \quad \div \quad 12 \quad = \quad 10,140 \text{（円）} \dots \text{（1 回の支払額）}$$

$$121,680 \quad - \quad (10,100 \times 11) \quad = \quad 10,580 \text{（円）} \dots \text{初回の支払い額，}$$

2 回目以降の支払額は 10,100（円）

$$262,500 \quad + \quad 9,180 \quad = \quad 271,680 \text{（円）} \dots \text{支払い総額}$$

毎月の支払いは収入の 20 ～ 25% が目安（上限）

## B リボルビング払い

例えば、月々1万円の支払いでテレビを購入し、さらに、月々15,000円の支払いで洋服を買ったとしたら、支払いは月々25,000円になる。さらに別の商品を分割払いで購入すれば、月々の支払いはもっと増える。ところがリボルビング方式の支払いでは、商品を買いつけても、月々の支払い額が増えることはない。

### 1 リボルビング方式と分割方式の違い

	リボルビング方式	分割払い方式
月々の支払い額	初めから一定額を決めている	商品ごとの分割支払い額の計算
手数料の計算	債務の合計額を基礎に計算	商品ごとに計算
支払いの終了	債務がある間は継続。商品ごとの支払い終了はない。	個々の商品ごとに支払い終了がある。

### 2 リボルビング方式の具体例

最も一般的な方式に「定額方式」というものがある。これは、クレジットカードの会員になるときに、カード会社との間で月々の支払い額をあらかじめ決めてしまう方式である。

例えば

未払い債務の合計・・・85,000円
月々一定の支払い額・・・10,000円
手数料の料率・・・未払い残高に対して、月1.0%（年12%）
手数料の支払い方法・・・元金均等方式（下記参照）

手数料の計算

商品にかかわらず、債務の残高を基礎に手数料を計算する。

$$85,000 \times 1.0 = 850 \text{ (円)}$$

今月の支払い額は

この例題では、元金均等方式としているので支払い額はすべて元本に充当される。したがって月々の支払いは一定額と手数料の合計額になる。

$$\begin{array}{r} \text{一定額} \quad \text{手数料} \\ 10,000 + 850 = 10,850 \text{ (円)} \end{array}$$

翌月に残る債務は

$$85,000 - 10,000 = 75,000 \text{ (円)}$$

### 参考：元本充当分と手数料充当分

月々の支払額は、現金価格に相当する「元本」に充てられる部分と、手数料に充てられる部分とで構成される。リボルビング方式においては、毎月一定額（上記の例では1万円）の他に手数料を支払う方式を「元金均等方式」、手数料を含めて毎月1万円とする方式を「元利均等方式」という（元利均等方式では、元本充当分が9,150円となる）。

